

令和7年度政策討論会 第三分科会（第5回）要点記録

- ・日時 令和7年10月7日（火）
- ・場所 議会会議室
- ・会議時間 10:00～10:43
- ・出席者 中岡 佐織（座長）
西田 武史（副座長）
小西 拓模
殿本 マリ子
南 加代子
友永 修
中井 良介
井舎 英生（座長、副座長以下は議席番号順）

テーマ：郷土愛について - 岸和田市讃歌、岸和田音頭などを活用しながら -

1. 中岡座長より、以下の通りこれまでの議論をまとめた提案書（案）が提出され、確認・修正を行った。

提 案 書

~~（案）~~

岸和田市讃歌、岸和田音頭などを活用しながら

郷土愛を醸成するはぐくむ政策提案書

【主旨】

岸和田市讃歌は、1972年（昭和47年）、市制施行50周年を記念して歌詞を市民から募集し、制定されたものであり、市民の誇りと郷土への想いを共有する象徴的な存在である。

同年には、市制施行50周年を祝い「岸和田音頭」も制作され、踊りや歌を通じて地域の一体感を育んできた。

これらは岸和田の魅力を象徴する貴重な文化資産であり、郷土愛の醸成や観光振興にもつながる可能性を持つ。

しかし近年、特に若い世代においてその存在が十分に認知されず、接する機会も減少している。

本提案は、教育活動・市内の公共施設・地域行事・商店街などを通じて、これらの文化を再び市民の日常に息づかせ、世代を超えた継承を図るものであり、ひいては市民一人ひとりの郷土愛を育み、地域への誇りを高めることにつながるものである。

【課題】

①認知度の低~~下~~さ

市民の間で、特に若年層において、岸和田市讃歌・岸和田音頭の存在、また歴史や意味がほとんど知られていない。

②接触機会の~~減少~~少なさ

学校教育や地域行事での活用が限定的であり、日常生活で触れる場面が少ない。

③世代間の~~継承の途切れ~~

~~—岸和田音頭に関しては高齢世代には馴染みが深い—方、岸和田市讃歌は若い世代や子どもたちは歌や踊りに触れる機会が少なく、継承が進みにくい。~~

【課題解決へ向けて】

岸和田市讃歌や岸和田音頭を、市内小中学校での学習機会や式典での活用、地域行事での披露、公共施設や商店街での音源活用や映像配信などを通じて、市民が自然に触れられる~~環境を整備すること。機会を創出すること。~~

これにより、世代を超えて郷土文化を継承し、市民の郷土愛と誇りを高めることを提案する。

具体例

- 市の公共施設：岸和田城、観光交流センター、電話の保留音、市公式WEBページのBGM 等
- 市の行事：成人式、全国豊かな海づくり大会、出初式、~~こども議会~~ 等
- 民間での取組：商店街でのBGM活用、地域イベントでの披露 等

上記の例を参考に、課題解決として必要な施策を検討すること。

担当部課名

企画課、学校教育課、農林水産課、生涯学習課、総務管財課、観光課、~~産業政策課~~、消防本部総務課

提案書タイトル案

- ① 「郷土愛を育む岸和田市讃歌・岸和田音頭の活用に関する政策提案書」
- ② 「岸和田市讃歌・岸和田音頭を活かす郷土愛醸成に向けた政策提案書」
- ③ 「岸和田市讃歌や岸和田音頭を通じた郷土愛の継承に向けての政策提案書」
- ④ 「郷土愛を育む — 岸和田市讃歌・岸和田音頭の活用を求める政策提案書」

- ⑤ 「岸和田市讃歌・岸和田音頭を核とした文化継承と郷土愛の醸成を求める政策提案書」
- ⑥ 「郷土愛をはぐくむ ― 岸和田市讃歌・岸和田音頭の活用による地域の誇りづくりに関する政策提案書」
- ⑦ 「文化資産の継承による郷土愛と観光振興の推進」

※今回の分科会での討論会は、以上の内容を修正し、体裁を整えた上でまとめとする。